

二か所の視察地で共通して感じたことは「自治体の行政運営を円滑に推進するには、地域住民の理解と協力が不可欠」と言うことである。

下諏訪町では、防災士育成のための補助や任意団体による防災活動を支援しており、その町ぐるみの減災活動は八丈町でも見習うべきではないかと感じた。また、とにかく堅苦しくなりがちな防災会議等の場に「防災漫才」を取り入れるなど、楽しみながら「共助」に取り組む熱意の高さに共感した。

また上田市では、キャッシュレス化推進のために「上田市」と民間企業「(有)和晃」と「上田信用金庫」の三者がタッグを組むことで、実現力の高い組織を構築していたことが印象に残った。

市だけで取り組むのではなく、地域にある「民」と「金」の資源も活用しての行政運営、即ち、地域を巻き込んだ実践に下諏訪町との共通点を強く感じ、八丈でも学ぶべき点の一つとして今後に生かしたい。

今回の視察では、下諏訪町、上田市、両地区ともに議場の見学をさせて頂くことができた。

一見したところ八丈の議場とほぼ同様だったが、カメラやモニターなど最新のデジタル機器が設置されており、コスト面や操作面での負担が危惧され、八丈町での導入は今後の課題となるだろうと受け止めた。